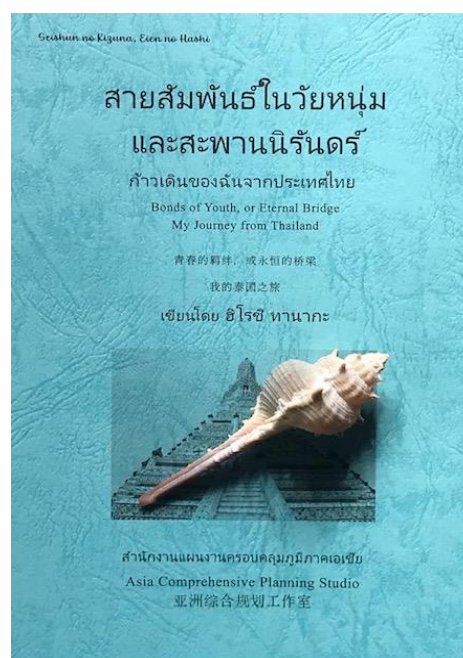
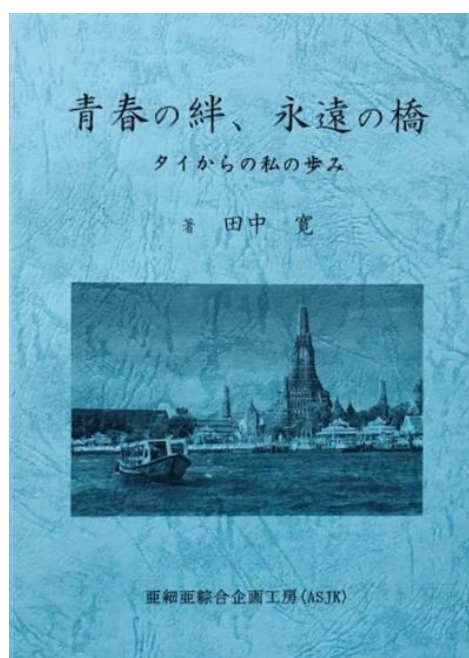


『青春の絆、永遠の橋 タイからの私の歩み』  
(田中寛著、亜細亜総合企画工房.2023.1.25)のご紹介

裏表紙にはタイ語と英語、中国語で書名が記されている。2023年1月26日にタイ、バンコクで挙行されたTPA(泰日経済技術振興協会)設立50年記念式典にあわせて作成されたものである。B5判、176頁の分量ながら、当時在職中の財団法人海外技術者研修協会からタイに出向し、技術移転、産業人材育成としての日本語教育に携わった著者の経歴が具体的につづられている。「青春の絆」とは、青春期に誓った自らの課題を、「永遠の橋」はそこから未知の世界、未来につながる航跡をあらわしている。タイからの歩みは、その後のさまざまな出会いによってさらに成長を遂げていった。同書は著者の日本語教育、言語研究を核とした異文化・異言語探究の葛藤、異化・同化の闘争の記録である。



**目次：**まえがき／青春の絆、永遠の橋／タイ原景——悠久なる時の記憶／タイに溺れる／1970年代のタイにおける日本語教育／1970年代のタイにおけるタイ語教育／1980～1990年代のタイにおける日本語・タイ語教育／タイ語機能構文論への志向／外国語教育と異文化理解／【資料探訪】戦前戦中のタイにおける日本語教育3篇／著者経歴・タイ関係著作目録

ご希望の方には実費原価で頒布いたします(送料とも1000円)。1970年代から80年代当時のタイの日本語教育の実態、また著者の異言語異文化体験、また歴史資料として星田晋五、興水實、平等通昭といった先達のタイにおける日本語教育の紹介記事などを収録しており、タイの日本語教育に携わる方、関心を持つ方にとっても有益な一冊と言えます。

ご希望者は下記宛、ご連絡ください。

hiroshitanaka724@gmail.com 亜細亜総合企画工房・田中寛